



はじめに

英会話が難しい一つの理由として、英語は略されることが多いことにあります。そのため、英文は英会話と近似しているだけで、時には異なる場合もあります。この省略によってネイティブ・スピーカーは滑らかで途切れのない文や表現ができますが、英語が母国語でない人はいくら文法や単語が豊かでも、自然に聞こえません。この省略が英語にリズムを与えるので、英語をマスターするにはこの英語の会話法もマスターしなければなりません。ファット・イングリッシュは：省略を認識、理解し、どのようにその省略を取り入れていくかを勉強します。英語の省略には様々なタイプがあります。このプログラムではそれぞれの方法が紹介されます。

Phat Englishの概要

Phat Englishとは？

Phat Englishとは、英語を母国語としない人で、より自然な英語を話せるようになりたい人や北米の英語を聞き取れるようになりたい人のための、アクセント・リダクション（発音矯正）プログラムです。

プログラムの内容

Phat Englishは、英語のスピーチを自然で流暢にするために必要な要素を紹介します。その要素の中には、以下のようなものが含まれます。

- 北米英語にみられるアクセント
 - 強調されない音節の中で、母音をソフトなあいまい母音にする。
例： che-muh-cal (chemical)
 - 音節間の流れをスムーズにするために、連続する子音のうちのひとつを発音しない。
例： I jus' got home.
- イントネーション、リズム
- ヒップホップスラング、北米英語のイディオムと表現



プログラムの行い方

1. まず生徒は、4つのサウンド・リダクション（細かい音を発音しなかったり、前後の音をくっつけて発音したりすること）の理論を学ぶためのミニ・コースに入ります。それらのサウンド・リダクションがなぜ起こるのか、それらが実際のスピーチでどのように応用されるかなどを学びます。
2. 次に生徒は、特別に用意されたラップの歌詞を使って、それらのサウンド・リダクションが実際にどのような形で使われるのか、自然なスピーチの中でそれらがリズムやイントネーションやスラングとどのように関係しているのかなどを学びます。（ラップは自然な英会話のリズムとイントネーションに合うように作られています。）
3. 最後に生徒は、歌の歌詞を分析して、どの言葉やフレーズがサウンド・リダクションかを判断します。歌を聴いてあっているかを確認した後に、生徒はそのリズムのパターンを使って、自分自身の歌詞を書きます。

必要なもの

生徒用：

Phat Englishは、CD（それぞれの歌の異なるバージョンが入っています）とワークブックから成ります。

講師用：

講師のためのガイドがあります。また、初心者から上級者までのレッスンプランのデータベースもあります。

英語上級者・英語を母国語としないESL/EFLの講師用：

英語上級者・英語を母国語としないESL/EFLの教師のためには、印刷可能な修了証書がついてくる、オンライントレーニングとテストプログラムがあります。さらに、オンラインのTOEIC模擬試験も用意しています。